

奈良高専 図書館だより

記事

1. 図書館利用のすすめ
2. 卒業生からのメッセージ
3. AV機器の利用について
4. 偏見ということ
5. 平成元年度読書感想文について
6. ハンドパワーです
7. 図書室利用統計

1989年7月 奈良工業高等専門学校図書室 発行

図書館の利用のすすめ

—特に新入生の皆さんへ—

図書館委員長 犬田 修正

新入生の皆さん、高専で初めての定期試験も終わり、ホッと一息入れていることと思います。今回の試験では実力が十分発揮できなかった人もいると思いますが、まだまだ先は長いのです。焦らず着実に学習を続けて下さい。そうすれば必ず良い結果が生まれる筈です。じっくり腰を据えて屈することなく続けて学習することが大切です。

さて、皆さんは、それぞれの一生の中で、心身共に最も発達し、成長する時期を本校で過します。そうしたことに相応して、学校側では5年間の一貫教育により、無駄なく、効率的なカリキュラムのもとに、大学に相当する専門教育を行おうとしています。すべての教育機関がそうであるように、豊かで良識ある人間教育も併せて行いたいと考えています。そうしたことから、皆さんのカリキュラムの内容は、一般・専門基礎・専門教育の三つの柱からできています。したがって、本校の図書館の蔵書構成も、これらの点が特に配慮され、これが一つの特色となっています。

教室での授業は楽しくてたまらないと感じ続けることのできる人もいるとは思いますが、中にはどうしても授業が受け身になり、面白くない、固苦しい等と感じている人も少なくないと思います。後者の場合、本人にとっては教室は“砂漠”と映るかもしれません。

ところで、皆さんのための図書館は人によっては“砂漠の中のオアシス”としての役割を演じ、また疲れた頭脳と気分を“リフレッシュ”してくれるところ、学校生活におけるいろんな束縛から“解放”してくれるところ、皆さんの若々しく、かつ無限の可能性を秘めた“知的好奇心”をみたくしてくれるところであり、若者の特権ともいえるべき“余暇の善用”の場でもあります。

より平たく付け加えるなら、授業でわからなかったところを調べるとか、実験、実習のレポート作成や卒業研究にも役立つと思います。また、いろんな種類の書物があるので中広く教養を身につけるのに役立つし、こうしたことから、ここでの学習活動によって、中広くかつ深く読書ができる習慣が身につくと知識が豊かになるばかりでなく、同時に思考力が深まり視野が広がります。そして、これから展開されてゆく皆さんの人生を実り豊かで楽しいものにしてくれると思います。さらに、本来、図書館というものは諸君自らが“能動的”に働きかけない限り、すなわち、図書館の扉を自らの手で開かない限り“眠れる宝庫”であり、その中の“宝の山”は発掘されずに終ることになりますが、逆に、自由自在に図書館の書物や資料が利用、活用できれば、こんなにありがたく、重宝なものはないと思います。

さて、この約6万冊の本ですが、これは他の図書館に比べて必ずしも多い数というわけではありませんが、毎日1冊ずつ本を借りて読むとしても、5年間で1,800冊余りであり、これは全体の約3%にしかありません。こう考えると約6万冊の本は皆さんの読書欲に対して十分過ぎる位の数であり、「宝山」と言ったのもあながちオーバーな表現ではないことがわかってもらえると思います。

皆さんは立派な技術者を夢みて入学してきた筈です。その初心を実現するには日頃の学習は勿論大切ですが、他方、「自ら学ぶ力」を身につけることが不可欠です。図書館での学習が平常授業にも増して、皆さんにとって意義深く、大切であると思うのは、ここでの学習活動が「自ら学ぶ力」を育て、やがて大きく開花し結実する可能性を秘めているからです。どうか皆さん、図書館を十分利用して高専に入って良かったと思えるような実り豊かな高専生活をおくって下さい。

卒業生からのメッセージ

図書館利用のお奨め

電気工学科 藤本大輔

じつの所、高専に入るまでは、図書館というものを殆どまともに利用した事はありませんで、せいぜい小学校の図書室で江戸川乱歩（あの黄金仮面が薄笑いしている奴です）を読んだ位でした。ここへ来てからも半年位は図書館の存在など全く気付かなかったのですが、大視聴覚室における種のつれづれを紛らすべく、初めて本を借りる気になったという具合でした。

今改めて数枚の図書帯出票を見てみると、何遍も読み返した本、結局理解できず諦めた本、何を考えて借りたのか全く判らない本など色々ありますが、オススメの品を少し挙げて字数かせぎをする事にします。

何かしながら暇つぶしに読むなら遠藤周作、北杜夫のエッセイが最適です。やたら沢山置いてある筒井康隆は文句無しに笑えるし、読んで得した気分になる小松左京の超大スケールSF、あまり沢山読むと飽きる星新一の超短編SF、それから豊田有恒の歴史SF、眉村卓の社会派SF、半村良の伝説シリーズも面白い。本嫌いの人はこの辺を一度読んで見て下さい。

いつ頃からか図書館にも漫画の数が増えて来ました。活字の本が可哀想なほど盛況の様子で、揃えて借りるのは難儀ですが、故手塚治虫の「アドルフに告ぐ」全4巻、「火の鳥」全11巻は必読です。

専門書を捜し求める程でもない漠然とした知的好奇心には講談社ブルーバックス。あらゆる科学

分野の、門外漢でも分かる解説書が揃っています。

高専へ来る人には小さい頃からいわゆるキカイイジリが好きな人、「初歩のラジオ」の愛読書、「燃えないゴミの日」には回収車に遅れじと近所中を宝物探しに走り回り、押入をガラクタだらけにして家人に文句を言われるといった経験のある人も多い(?) ことでしょう。理論は嫌でも教えて貰えますが、「初ラ」に載っている様な雑学的な知識は電気の西から3列目。但し古い本ばかりなのが難点で、「最新テレビ受像機」に真空管式白黒テレビの回路図が載っていたりして結構楽しめます。

電気屋としては飯の種となる(らしい)電験三種を早い目にとっておこうという人もいます。電験の本は昭和25年度辺りの電験解答集をはじめ沢山ありますが、お奨めはオーム社「絵とき電験三種マスターシリーズ」全6巻。あたかも学研の科学のごとき無闇に豊富な図と大きな活字。もともと度業高校向けらしく加減乗除と暗記さえできれば合格できるようになっています。

この学校では実験レポートの「考察」の為に嫌でも図書館に通うはめになる訳です。僕の場合は5年間に借りた本の多くはレポートに無関係の小説の類で、専門書は殆んど無い(いや別に人のを写した訳ではなく当日勝負が多かったせいではありますが)のですが、やはり索引で目当ての項目を捜して写すだけではなく前後にも目を通して、それがどんな分野のどの位置を右めているのかを見ておくで得です。いや、それどころか理解するよりも大体の内容を掴んで位置だけ記憶しておく方が賢いかも知れません(極論ですが)。

脈絡なしに色々書いてしまいましたが、結局僕

が5年間で得た最大の収穫は、本の面白さ、有難さの発見であったと言う事を付け加えたいと思います。好奇心の赴くままに図書館でヒマつぶしをしてみてください。

「私の図書館観」

機械工学科 横山 忠雄

初めて図書館の存在に気付いたのは、今は昔、白色の図書カードを配布された時です。その時はさほど気にせず、そんなに行くこともないだろうと遊びまわっていましたが、3年生の頃より、レポートや工学実習のポンプ設計などで、急激に図書館に足を向けることが多くなりました。そして、4年生になると、工学実験レポートを書くための勉強部屋になってしまい、5年生では卒研のために、さらに通い詰めるようになりました。通い出し始めた頃には、白色の図書カードは去りハイテクなパソコンによる図書借出が出没し、また女子大生が一人アルバイトで入って来て、図書館の内情もだいぶ変わってきたと思います。図書館が変わっていくのと同様に私も、この5年間で非常に様変わりし、もう3月には卒業を迎えることになりました。一つ図書館で気になるのは、端に陳列してある演歌などのカセットです。あれは、一体誰か借りることがあるのでしょうか。

図書館では、工学関係の本しか借りませんでしたが、その他の本も卒業までに挑戦したいと思います。春には進学し、大学の図書館で、きっと高専の図書館の風景が目に浮かぶこともあるでしょう。それではこれで……。

△ △ △ △ △ △

化学工学科 植木 利也

早いもので、もう卒業の場となってしまう、この喜劇の幕も閉じてしまうのです。

本校の図書館と私との結びつきと、言うものですが、正直なところほとんどありません。確かにこの学校に入学して時間の余裕が出来、読書というものが、習慣になりましたが、読みたいと思った本は、すぐ買ってしまいます。低学年のころは、教室と図書館とが近かったため、よく図書館で時間をつぶしました。雑誌類を、ただながめて

いるに過ぎなかったのですが、けっこう良いひまつぶしになりました。それが、学年がひとつあがるごとに、図書館に足を運ぶことも少なくなりました。向学心のうすい私でしたので、調べものたぐいで図書館を利用するというのも、ほとんどなく、私にとっての図書館は、長いこいの場所だったと言えます。しかしながら本校図書館には、とてもすてきな本がたくさんあるのは、事実です。例を挙げさせてもらおうと、いわさきひろさんの画集です。いわさきひろさんというと、御存知の方も多いと思いますが、絵本のさしえで有名な方で、私のような表現力のとぼしい者にとっては、ただ心がやすらぐようなとしか言えませんが、とにかくすばらしい絵を描いた人です。図書館にそれが大版のものでふたつあり、それを見つけて初めて見たときに、最初に感じたのは、えもいわれぬなつかしさでした。さっそくその日は、家に帰って本だなのでねむっていた彼女の絵の入った絵本をひっぱりだして十数年ぶりぐらいで、その本を読みました。幼いころの印象と、その日の印象とが、同じだと言えば、うそになりますが、何か温かいものを感じるということでは、同じだったと思います。結局、思い出というものは、そういうものではないでしょうか。過去のどこかで置き忘れたものを、ある日みつけだす。我々が、今、生きているのも、いつの日にかの思い出作りのためかもしれません。

他にもすばらしい本が、ありましたが、こうしていちいち思い出してばかりもいられませんのでやめますが、とにかく、図書館は、私にとっての思い出のひとつとなったのです。私は、これからも、多くの本を読んで、すてきな時間をすごしていきたいものです。

私と図書館

留学生 馬 洪 全

三年間の高専生活はあっという間に終わってしまいました。勉強する間、みなさんにいろいろお世話になりました。ほんとうにありがとうございます。これからもよろしくお願い致します。

私はよく図書館へ行きました。レポートを書く時にはもちろんの事、新聞・雑誌をよんだり、世界とくにアジアの政治・経済の動きの本をよんだりしました。

図書館には中国の現状を紹介する本が少ないが、中国の古典・歴史に関する本がたくさんあります。その中で文学的に一番有名なのがおそらく「紅樓夢」でしょう。この本が世界での名作で、男女の恋の事と四つの大金もちの家の興衰を中心とする内容であります。実は私が中国でこの本をよんだことがなく、日本へきて初めてこの本をよみました。

また「三国志」のことは、みなさん、ほとんどごぞんじだと思います。もしこの本を読めば、単にその面白さだけではなく、その中のいろいろな人物の生き方と人間関係のことを研究すると、自分の人生にとって大きなプラスになるでしょう。また各人物の性格が分かると、「三国志」のゲームをやれば勝ちやすいよ。

AV機器の利用について

1. 利用時間

曜日 期間	授業期間中	休業期間中
月曜日～金曜日	8:30～20:00	8:30～17:00
土曜日	8:30～16:30	8:30～12:30

2. 貸出方法および返却

図書館受付カウンターの利用申込書（貸出用・持ち込み用）に必要な事項を記入し、ヘッドホーンを受け取り利用してください。

使用後は、テープの巻戻しを確実にし、又機器については、電源等を必ず切り、整理整頓後ヘッドホーン等を返却してください。

〔注意事項〕

- * 館内では静粛・清潔・整理整頓に心がけ、利用中は他の人に迷惑な行為はしないで下さい。
- * 教育上好ましくないテープ等は持ち込まないで下さい。
- * テープ等の館外貸し出しはしません。
- * 館内での録音録画はできません。
- * 閉館時間の10分前には使用後の点検を済ませるようにして下さい。



「視聴覚資料」リスト

- | | |
|-----------------|---------------|
| 1. 赤西蠣太 | 伊丹万作監督 |
| 2. 関東大震災の秘録 | 日本防災協会 |
| 3. 荒野の決闘 | J. フォード監督 |
| 4. モモ | M. エンデ作 |
| 5. 第三の男 | リード監督 |
| 6. 生命の神秘 | J. アルガー監督 |
| 7. ゴジラ | 本多猪四郎監督 |
| 8. 雨月物語 | 溝口健二監督 |
| 9. 仁義なき戦い | 深作欣二監督 |
| 10. 歌劇「魔笛・I、II」 | サヴァリッシュ指揮 |
| 11. 天井桟敷の人々 | マルセル・カネ監督 |
| 12. 羅生門 | 黒沢 明監督 |
| 13. ローマの休日 | W. ワイラー監督 |
| 14. スター・ウォーズ | J. ルーカス監督 |
| 15. モダン・タイムズ | チャップリン監督 |
| 16. 史上最大の作戦 | D. F. ザナック監督 |
| 17. 風と共に去りぬ | セルツニック監督 |
| 18. 戦場にかける橋 | D. リーン監督 |
| 19. ラストエンペラー | B. ベルトルッチ監督 |
| 20. 風の谷のナウシカ | 宮崎 駿監督 |
| 21. 用心棒 | 黒沢 明監督 |
| 22. 2001年宇宙の旅 | S. キューブリック監督 |
| 23. 市民ケーン | O. ウェルズ監督 |
| 24. 独裁者 | チャップリン監督 |
| 25. 西部戦線異状なし | マイルストン監督 |
| 26. 火垂るの墓 | 高畑 勲監督 |
| 27. 明日に向かって撃て | J. R. ヒル監督 |
| 28. 普通の人々 | R. レッドフォード監督 |
| 29. カサブランカ | M. カーチス監督 |
| 30. 上海バンスキング | 深作欣二監督 |
| 31. とんりのトトロ | 宮崎 駿監督 |
| 32. 国民の創生 | D. W. ブリフィス監督 |
| 33. 真夜中のカーボーイ | J. シュレシnger監督 |
| 34. ターザン | B. パーレン監督 |
| 35. ガープの世界 | G. R. ヒル監督 |
| 36. 超電導：夢の実現 | 田中昭二監修 |

偏見ということ

金芝河の「チノギ」という詩劇を上演する在日韓国人青年たちを手伝ったのが、「かの国」を文化国家として認識した最初であり、彼らの音楽・舞踏的素質に驚いた初めだった。高校生だった。

大阪の生野区に生まれ育ったから、まわりに多くの「朝鮮人」を見てきた。馬鹿にしたことも、奇異の目でみたこともない。ただ、チョゴリを着たオモニ達が集まっているのを見たり、「てにをは」や「促音」を欠いた日本語を耳にすると、漠然たる距離感を感じたものだ。

ヨーロッパで生活した間に黒人の友人を作らなかったことを思うと、私も「差別意識」の持ち主らしい。黒人に軽い「怖れ」を感じたことは事実である。まわりの誰もが同じ髪、目、膚の色をしていることに慣れていた私に、黒い膚は「不吉」な印象でとらえられた。結局、自分及び自分に似た者以外の「異人」を排斥することによって、自分の世界を守ろうという裡なる意識が、差別意識の原因なのだろう。それは、「よく知らない事＝無知」から生じる、いわれなき偏見である。

勤務した学校のいくつかで「同和教育」を担当してきた。事前事後の指導でアンケートを行なうと、「そっとしておけば、差別は自然消滅する」という意見がでる。しかし「いじめ」にもみるように、人間には、誰か自分より弱い立場の者を見下したいという気持ちが根強くある。仮に「部落」が青年層の意識から消えても、他のものが代わるだろう。学ぶべきだ、と思う。知人の女優が、「身世打鈴」という在日朝鮮婦人を扱ったひとり芝居を長年演じているので、前任校でやってもらった。日常をつきつける芝居に、生徒たち正直に反応を示した。

夜間中学を訪れたり、非行青少年の補導をしていると、彼らが社会の底辺に押し下げられる仕組みが見えてしまう。彼らの現実には、映画「潤の街」のようなさわやかさは、望めない。それでも、私が知る彼らは、概して明るく振る舞う。そのことを、あきらめではなく、私達の善意への期待と信じるのは、都合がよすぎるだろうか。私は彼らの明るさに応えたいと思っている。

(神沢 記)

こんなん出ましたけど…

昨年度(1988年)の全国書店ベストテンの結果がでました。あなたの読んだ本は入っていますか。

- ①「ノルウェイの森」(上下) 村上春樹
- ②「こんなにヤせていいかしら」川津裕介
- ③「ダンス・ダンス・ダンス」(上下) 村上春樹
- ④「私の人間関係」(上下) 池田大作
- ⑤「雪はよごれていた」沢地久枝
- ⑥「大国の興亡」(上下) P. ケネディ
- ⑦「裕さん、抱きしめたい」石原まき子
- ⑧「たかが江川、されど江川」江川 卓
- ⑨『『文芸春秋』にみる昭和史』1～3
- ⑩「人は死ねばゴミになる」伊藤栄樹

(出版ニュース1月下旬号より)

このうち、本校図書館には、①⑤⑧⑩の本がそろえてあります。トライしては?

ちなみに、本校昨年度の貸出図書ベストは、「ブッダ」手塚治虫、「まんが道」藤子不二雄、「火の鳥」手塚治虫、「アドルフに告ぐ」手塚治虫、のコミック陣が上位でした。

高専らしいところでは、「ザ・C」(化学科の噂話ではなくコンピューター関連の本)、「交流理論」といった専門書がでています。図書館には、先生方のアドバイスに従って、あなたたちの使い易い良書をそろえています。試験やレポートのため以外にも、おおいに利用してほしいですね。

女子学生が増えてきたためか、料理に関する本の需要も高まってきました。「お菓子とデザート」は人気が高い本です。女性問題を考える本や、恋愛について、生理についてなど、相談しにくい悩み事に答える本を、更に増やしてゆく予定です。

よく読まれた小説としては、「ノルウェイの森」(上下)、「三姉妹探偵団」シリーズ(赤川次郎)、「ゲームの達人」(上下)(シュルダン)という名がみえますが、ちょっと寂しい感じですね。精神の栄養失調症を予防するためにも、どんどん文学作品を読んでください。いわゆる古典、名作だけでなく、おもしろく読める本もたくさんあります。学生図書委員たちが選んでくれた「学生選書」には、あなたたちの親しみ易い本があると思います。おっくうがらず。本との出会い、大切に。

平成元年度 読書感想文コンクール課題図書!

今年も夏休み恒例の、読書感想文コンクールを、図書館委員会と国語科の共催で行います。教官から推薦を受けた図書を基に、委員会と国語科で検討し、次の16点の図書を1～3年の課題図書と決定しました。皆さんの手に入れやすく、読む価値のある本ばかりです。図書館のカウンターに並べておきますので、参考にしてください。

<文芸作品>

老人と海	ヘミングウェイ	新潮文庫
ドクトルマンボウ青春記	北 杜夫	中公文庫
子熊物語	カーウッド	集英社
渚にて	シュート	創元文庫
李陵	中島 敦	角川、新潮文庫
それから	夏目漱石	角川、新潮文庫
奥の細道	松尾芭蕉	角川、新潮文庫
新選組血風録	司馬遼太郎	中公、角川文庫

<文芸作品以外>

ぼく、もう我慢できないよ	金賛汀	講談社
零の発見	吉田洋一	岩波文庫
雪	中谷宇吉郎	岩波新書
白球礼賛	平出 隆	岩波新書
又五郎の春秋	池波正太郎	中公文庫
ことばと文化	鈴木孝夫	岩波新書
独創は闘いにあり	西沢潤一	新潮文庫
ブッダの言葉	中村 元	岩波文庫

夏休みの「もう一冊」

課題図書にはならなかったけれど(値段の点や、難しさで)先生方から「読んでみたら」と勧められた本がいっぱい。寝っころがって、あるいは机にむかって、「もう一冊」のメニューです。これらの本も、図書館カウンターに並べてありますよ。

若きウエルテルの悩み	ゲーテ	岩波	仮装	林えり子	集英社
ファウスト	ゲーテ	岩波	バラ色になりたい	原田梨花	講談社
トーマス・マン短編集	マン	岩波	燃えつきた蛇	辻井 喬	角川
ハインリヒ・ベル短編集	ベル	岩波	映画を見ると得をする	池波正太郎	新潮
嵐が丘	エミリ・ブロンテ	角川	わたしの生涯	ヘレン・ケラー	角川
ライ麦畑でつかまえて	サリンジャー	白水社	生きること学ぶこと	広中平祐	集英社
赤毛のアン	モンゴメリー	新潮	空は終日曇らず	三田誠広	集英社
眠れない時代	リリアン・ヘルマン	ちくま	天皇の軍隊	大江志乃夫	小学館
ベスト	カミュ	新潮	隠された十字架	梅原 猛	新潮
異邦人	カミュ	新潮	プラトニウムの恐怖	高木仁三郎	岩波新書
阿Q正伝	魯迅	角川・岩波	ジョン・ウェインはなぜ死んだか	広瀬隆	文春
土佐日記	紀 貫之	講談社	バナナと日本人	鶴見良行	岩波新書
阿部一族・舞姫	森 鷗外	新潮	世界の宗教	村上重良	岩波ジュニア
雪国	川端康成	角川	生命を探る	江上不二夫	岩波新書
金閣寺	三島由紀夫	新潮	からだの中の元素の旅	吉里勝利	講談社
黒い雨	井伏鱒二	新潮	新人類の誕生	吉成真由美	新潮
楼蘭	井上 靖	新潮	数学者の言葉では	藤原正彦	新潮
殉死	司馬遼太郎	文春	エントロピーの眼鏡	戸田盛和	岩波
砂の女	安倍公房	新潮	高分子化学とともに	桜田一郎	紀伊乃国屋
光抱く友よ	高樹のぶ子	新潮	錬金術	吉田光邦	中公新書
高校時代	三田誠広	河出	エスプリとユーモア	河盛好蔵	岩波新書
小説・日本婦道記	山本周五郎	新潮	絵合わせ	庄野潤三	講談社
さぶ	山本周五郎	新潮	ひとすじの道(1～3)	丸岡秀子	偕成社

*なお、同和問題を考える図書も並べています。一緒に手にとってください。

ハンドパワーです

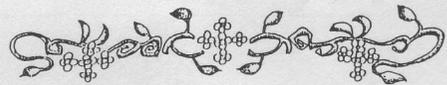
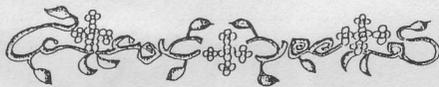
今最も有名な超能力者2人をご存じでしょうか。そう、Mr.マリックと Mr.ノリックです。彼らはスプーンまげはおろか手の中に100円玉を通したりして見せてくれます。何をかくそう私もテレビのスペシャル番組をみたあと、うちの研究室の面々とスプーン曲げや数字当てに興じてしまいました。スプーンはいまだ曲がりませんが数字は結構当たる様なので不思議です。私個人の好みを言わせてもらえば、Mr.マリックのあのいかにもインチキそうな風貌がどうしても好きになりません。そんなブームに前後して“となりのトトロ”というアニメ映画がテレビで放映されました。トトロは何ものなのでしょう。

このふたつのトピックを結び付けて話をするのはあまりにも強引かもしれませんが。ややもすると私を含め科学やら工学やらを飯の種にしてる人たちは教科書やごく簡単な実験でしか知らない物理学とか物理の法則とかをよりどころに、そういった何か怪しいものをけぎらいしてしまうようです。

誰と誰の対談で言っていたのか忘れてしまいましたが、最近は“もののけ(妖怪)”が出なくなってしまった、なぜなら、夜の闇が無くなってしまったから、という話が思い出されます。夜遅くまで仕事をし、寝る時間をも惜しんでレジャーを楽しむ現代人の生活では、夜に潜む妖怪たちを感じられない、もしくはイメージできなくなってしまった、ということなのでしょう。

どこか怪我をしたらそこに手をあてます。これもハンドパワーかもしれません。私は宗教家でも超常現象マニアでもありません。ですけれども、そういった何か怪しげなものを許容し、そして感じられるような生活こそおしゃれじゃないかと思います。そういう柔らかな感性、柔らかな知識といったものが大切ではないかと思います。

(電気科 土井滋貴)



図書館でのマナー

学生図書委員長 4C 辻本達哉

最近の図書館の充実は、目を見張るものがあると思います。本の貸し出しの電算化から1年が過ぎ、そして時間延長で便利になり、またAV機器の導入により、図書館利用の価値があがっています。これらの改革は、図書館の職員の方々にとって大変な御苦労があったと思いますが、これからの図書館の発展に期待しています。

ところで、図書館の利用者が増えることはうれしいことですが、心ない学生が多くなっているように思えます。特に、他人の思考を邪魔するような大声、さらに表現の自由を行使するひとつの手段である本への、書き込みや破損、本の返却遅れなどは、図書館を利用する上でのマナーからはずれた行為である。このために、レポートが書けなくて迷惑している人がいるかもしれません。そして、AV機器導入による新たな問題として、本来一人用であるにもかかわらず、何人かで聞くため

にボリュームを上げて、騒音をまき散らすというのも迷惑です。

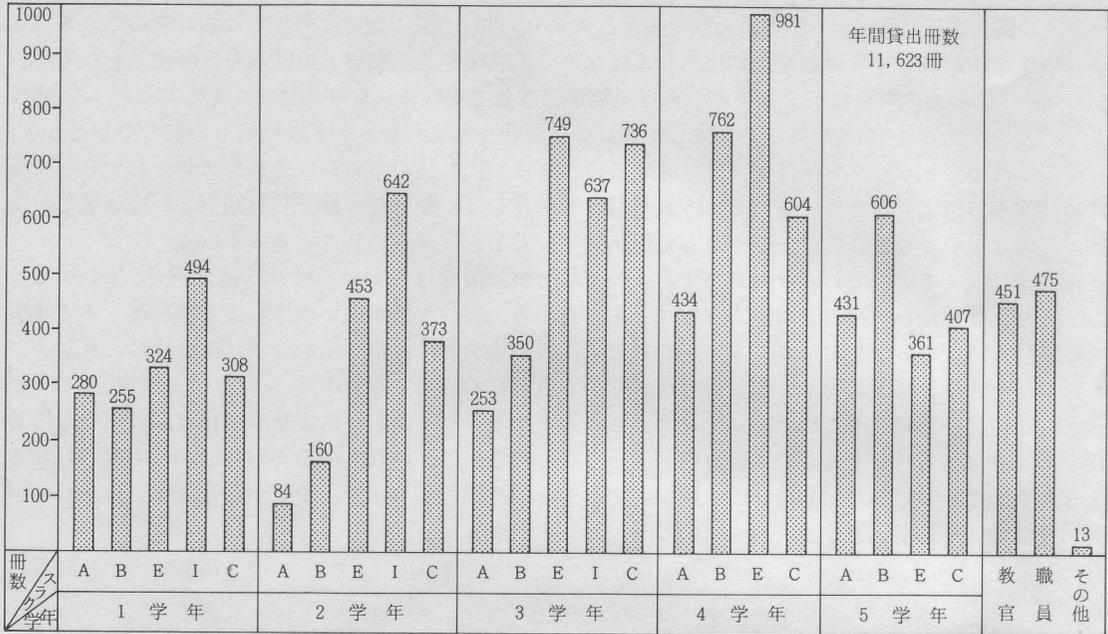
図書館と利用で、各人がどういう行動をとっているか、考えてみてください。



画 14C 竹川

昭和63年度 図書室利用統計

〔クラス別貸出冊数〕



〔蔵書冊数・分類別〕 平成元年5月現在

種別	総記	哲学	歴史	社会科学	自然科学	工学	産業	芸術	語学	文学	文庫	合計
和書	2,547	2,052	4,612	2,629	10,939	15,008	223	2,869	2,800	7,884	4,169	55,732
洋書	360	259	81	94	1,885	1,531	1	51	808	1,438	0	6,508
合計	2,907	2,311	4,693	2,723	12,824	16,539	224	2,920	3,608	9,322	4,169	62,240

〔お知らせ〕

本年度図書館委員会のメンバーが右のように決まりました。昼食時には、図書室で待機して下さるので、学生諸君は、先生がたの“心ときめく書物”や、“必読の書”の紹介などを受けて下さい。

図書館委員会メンバー表（教官）

	図書部会	視聴覚部会	紀要部会
一般	○神澤(水)	中和田(月)	神澤
機械	小畠(木)	○小畠	関口(火)
電気	土井(金)	井口(弘)(木)	井口弘
情報	植村(水)	浅井、植村	浅井(金)
化工	◎犬田(火)	梅原(月)	○梅原

◎委員長 ○部会長 ()内は担当曜日